

パブリックコメント(平成31年2月12日～2月28日実施)結果まとめ

素案(修正前)	ご意見(○は条文案として寄せられたご意見)	対応結果
前文	<p>私たちは誇りある阿蘇の自然と悠久の歴史に育まれたふるさとの中で、あらゆる生き方の多様性を認め合うことで、安心と豊かさにつつまれて暮らせる南阿蘇村をつくるため、この憲章を定めます。</p> <p>「誇りをもつこと」と「多様性を認め合うこと」を直接結びつけることは表現上困難ではないか</p> <p>「多様性」の主語をはっきりさせたほうがよい</p> <p>「多様性」は言葉が難しい→「それぞれ、おのおのの個性を尊重」</p> <p>「むらづくり」→「地域づくり」</p> <p>「阿蘇カルデラ『内』の」</p> <p>○私たちは誇りある阿蘇の自然と悠久の歴史に育まれたふるさとの中で、あらゆる生き方の多様性を認め合うことで、安心と豊かさにつつまれて暮らせる南阿蘇村をつくるため、この憲章を定めます</p>	より簡潔にわかりやすく修正
1条目(み)	<p>みずと緑あふれる美しい自然を愛し、守ります</p> <p>「守ります」→「その維持に努めます」</p> <p>○みずの恵みと緑豊かな美しい自然に感謝する気持ちを恒久的に持ち続けます</p> <p>○水と緑あふれる美しい自然を愛し、長い歴史に育まれた伝統や知恵を受けつぎ、伝えます</p>	素案のまま
2条目(な)	<p>ながい歴史により育まれた伝統や知恵を受け継ぎ、伝えます</p> <p>「伝えます」(大人の立場からの表現に感じる)→「守っていきます」(担い手は子どもも含まれる)</p> <p>○ながく先人により育まれた地域の伝統や知恵を受け継ぎ、伝えます</p> <p>○長い歴史により支えられた暮らしを方向転換し、村民一人ひとりが目的意識を前面に出す農業・観光・商業等のあり方を探ります</p> <p>長い歴史に(より)育まれた</p> <p>「知恵」→「叡智」とすると文の格調が上がり「文化+知恵」の2つの意味も内包できる</p>	素案のまま
3条目(み)	<p>みんなで描く豊かな未来、やさしさにあふれた村を創ります</p> <p>「描く」をとり「豊かな未来」のあとは「…に思いを致し」と入れる</p> <p>「創ります」→「目指します」</p> <p>○みんなが心の豊かさを実感できるような、思いやりのある村を創ります</p> <p>○みんなにとっての新しい南阿蘇村づくりは、老若男女の人口増、家庭の収入増、人々の新しい交流が不可欠です。こうした事業に精通したリーダーの育成が急務です</p> <p>○みんなで描く豊かな未来、やさしさと活気あふれる村を創ります</p>	素案のまま
4条目(あ)	<p>あその自然と共に営む暮らしを大切に、活力ある村を築きます</p> <p>「活力のある村」の前に「より一層」を入れる</p> <p>「を築きます」→「にしています」</p> <p>この部分にやや具体的でインパクトのある文を</p> <p>○あその自然とともに営む暮らしを大切に、活力ある村を創ります</p> <p>○あらゆる村民は、常に次世代の村づくりに責任を持ち、具体的で夢いっぱい構想を提起し、その実現に参画しましょう</p> <p>○あその自然「の中の営み」を大切に、活力ある村を築きます</p>	素案のまま
5条目(そ)	<p>そして、いつも心に蘇る、私たちのふるさとを想います</p> <p>「想います」→「愛し続けます」</p> <p>「蘇る」と「想います」は似たような印象を受ける(2名より)</p> <p>「そして」は接続詞で付け足しの印象を受ける(2名より)</p> <p>「そして」→「村民」または「それぞれが」からはじめる文にしてはどうか</p> <p>○それらの実現のために、私たちはあらゆる努力を惜しみません</p> <p>○そして、いつも心に蘇る「新南阿蘇村」の度合い・進化に注視し、意見を提起しましょう</p> <p>○そして、いつも心に蘇る、私たちのふるさと(を想います)</p>	前4条の締めくくりとして、「そして」の接続詞は残し体言止めの表現に修正
その他	<p>空気が「美味」、景観が「美しく」、気候もよい「美境」なので、6条目に「び」として表現したい(みなみあそ「び」)</p> <p>5つの項目分けの手法は記憶に残りやすく良い。ただし今までの村づくりから脱皮するというコンセプトではない</p> <p>全体的に情緒面が強く同じような内容になっており、印象に残りにくい</p>	簡潔でわかりやすく親しみをもてるよう表現を検討し前文と5つの条文からなる形に決定